

平成25年 12月 19日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 金沢大学附属高等学校・渡會兼也
2. 講師氏名: Marek Schmidt
3. 同行者氏名: 水田博、高村由起子
4. 実施日時: 平成25年12月17日 (火) 13:25~15:15
5. 参加生徒: 2年生 120人、__年生 __人、__年生 __人 (合計 120人)
備考: (例:理数科の生徒)
6. 講演題目: (英文) My career in 独, 英, 日 and graphene research
(和文) ドイツ、英国、日本における私の経歴とグラフェン研究
7. 講演概要:

タイトルにあるように、Marek Schmidt 氏の経歴をベースにしてサイエンスの研究だけでなく、そのときに過ごした環境や文化についても興味深い話を聞くことができた。グラフェンという素材の特性から応用まで、非常に分かりやすい例を提示してもらったおかげで、生徒の抵抗感もなかったのではないかと思う。最後は、研究者の視点から世界に出てチャレンジしよう、というメッセージもあった。JAISTの水田教授は、少し難しい話が出てきたときに、絶妙なタイミングで説明を入れていただき、生徒の理解をサポートしていただき、感謝している。

本校生徒のアンケートを見ても、「殆ど理解できた」、「概ね理解できた」が77%ということで、これは Marek 氏による丁寧なプレゼンと水田教授のサポートのおかげだと感じている。文系でも理系でも理解できる内容だったように思う。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 100分 質疑応答時間 20分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金

11. その他特筆すべき事項: